

つなげよう、育てよう、活かそう  
“さくらおろち湖”



平成25年9月

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会

# 「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定

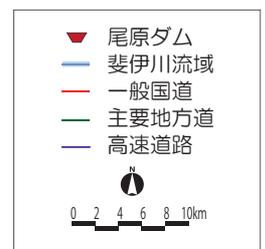
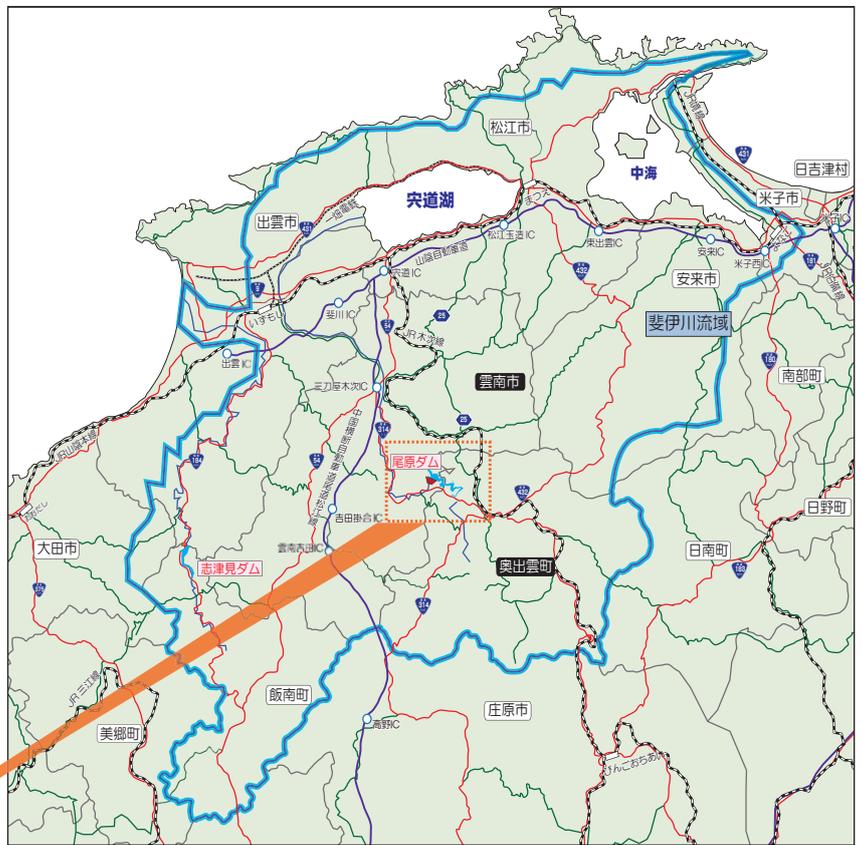
水源地域ビジョンは、**ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定するための行動計画**です。

『尾原ダム水源地域ビジョン』は、平成 17 年 5 月に策定された『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』によって整備された**周辺施設等を活かしながら、水源地域の活性化を図っていくことを目的**としています。

策定にあたっては、平成 24 年 9 月に「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立、その後、具体的な内容を検討するため、同年 10 月に「さくらおろちを活性化する会」を設立し、基本理念、地域の目標像、基本方針、また、それを踏まえた具体的な取組プロジェクト、その優先順位、先行プロジェクトの内容や役割分担などについて討議を行いました。これらの経緯を踏まえ、平成 25 年 9 月 13 日に『尾原ダム水源地域ビジョン』を策定しました。

## 1 尾原ダム水源地域ビジョンの対象範囲

尾原ダム水源地域ビジョンの対象範囲は、尾原ダム及びさくらおろち湖周辺を基本としていますが、**上・中・下流交流イベントの開催や産業振興などの取組に応じて、雲南市や奥出雲町、斐伊川流域も範囲とするなど、地域活性化に向けた活動内容に応じて柔軟に対応**します。



斐伊川流域と尾原ダム水域地域ビジョンの対象範囲

### 基本理念

斐伊川の源流をなす森や清流などの豊かな自然環境の恵み、魅力ある歴史文化などの地域資源、及び尾原ダム周辺の様々な施設等を、地域内・斐伊川流域圏の連携によって総合的に活用し、尾原ダム水源地域の自立的・持続的な発展を目指します。

### 地域の目標像

**斐伊川流域圏の連携による尾原ダム周辺地域の自立的・持続的発展**

### 基本方針

〈地域づくりに必要な行動〉

- ・ 自立的・持続的な流域圏の基盤構築

#### 1 水源地域を結び、拓く

水源地域の多様な関係者の結びつきによって取組の体制を充実し、地域の自立的・持続的な発展を拓いていきます。



〈地域づくりに必要な行動〉

- ・ 豊かな森と水源の保全と活用

#### 2 流域圏の恵みの源を守り、育む

斐伊川流域圏の暮らしや産業の恵みの源である水源地域の森や水などの自然環境を守り、育てていきます。



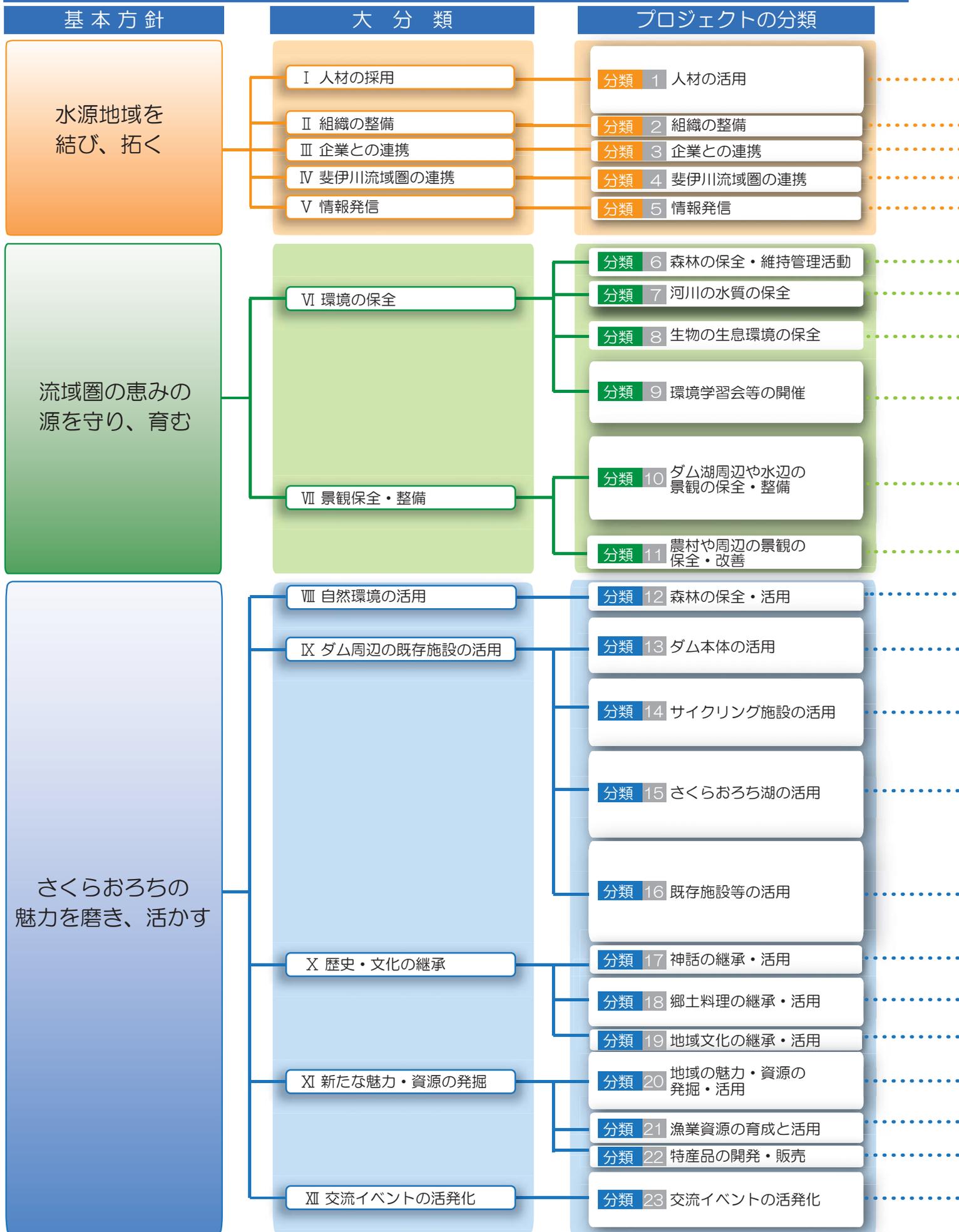
〈地域づくりに必要な行動〉

- ・ 水源地域・流域圏における連携の推進
- ・ 水源地域の自然・歴史・文化等の資源・魅力の活用
- ・ さくらおろち湖を活かした流域圏の交流・連携の推進
- ・ 森と水が育む水源地域の産業振興

#### 3 さくらおろちの魅力を活かす

さくらおろち湖と水源地域が有する歴史、文化、自然などの資源を魅力として磨き、活かしていきます。





早期（1～3年以内に着手）	中期（4～6年以内に着手）	後期（7～10年以内に着手）
<b>先行（1年目）</b>		
(1)-1 人材の発掘・活用 (1)-3 教育機関（大学等）との連携	(1)-2 接客技術（おもてなしの心）の向上	
(2)-1 リーダーの育成		
(3)-1 企業との連携（CSR活動）		
(4)-2 流域圏の連携	(4)-1 下流域からの支援	
(5)-1 情報発信の促進 （ホームページ、カレンダー、案内標識）	(5)-2 フィルム・コミッションの推進	
(6)-1 森林の整備・管理	(6)-2 ボランティア活動の実施	
	(7)-1 水質の保全	(7)-2 ビオトープの整備
(8)-1 生息環境の保全（動物・植物） (8)-2 外来種、害獣、害鳥対策		
(9)-1 環境学習会の開催 （森林、水質・水生生物、ホタル） (9)-2 体験プログラムの企画・開催 （間伐・農業体験）		
(10)-1 ビューポイントの発掘・活用 （フォトコンテスト、のぼり） (10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除 (10)-3 ダム湖周辺の植栽 （サクラ、ツツジ）		
	(11)-2 農村景観の向上 （ミックスフラワー）	(11)-1 農地保全の仕組みづくり
	(12)-1 森林の利用促進 （森林セラピー、森のようちえん）	
(13)-1 尾原ダムの魅力発掘 （ライトアップ、クレスト放流等） (13)-2 日本一プロジェクト		
(14)-1 サイクリングコースの活用・PR （サイクリングイベント、認定コース、ショートコース） (14)-2 レンタサイクルの実施		(14)-3 サイクリングコースの改善
(15)-1 湖面の利用促進（ポート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験） (15)-3 釣り利用（PR・大会・施設整備） (15)-4 利用ルールの策定・周知 （湖面利用の手引き等）	(15)-2 さくらおろち湖の魅力発信	
(16)-1 自転車競技施設（多目的広場）の利用促進（音楽イベント等） (16)-2 農村体験施設の利用促進 (16)-3 下布施ホースセラピー施設の利用促進 (16)-4 街道・登山道の活用 （トレイルランニング、殿様街道、岩伏山）	(16)-5 新たな活用策の検討 （星空観察会、ドックラン等）	
(17)-1 出雲神話の活用・PR （マップ作り、関連ツアー）		
(18)-1 郷土料理の継承・活用 （焼豆腐、イノシン料理等） (18)-2 モニターツアーの開催		
(19)-1 古民家の活用		
(20)-1 温泉の活用（スタンプラリー） (20)-2 観光資源の再整理 (20)-3 地域体感ツアーの開催		
(21)-1 漁業資源の創出 （ワカサギの放流）		
(22)-1 特産品の開発・販売促進		
(23)-1 さくらおろち湖祭りの開催 (23)-2 そば打ち交流会の開催 (23)-3 イベントの企画・立案		
早期取組件数：42件	中期取組件数：6件	後期取組件数：1件

赤字：新規プロジェクト（36件）  
 黒字：既存プロジェクト（13件）  
 うち、先行プロジェクト：37件  
 （1年目に取組むプロジェクト）

## 基本方針

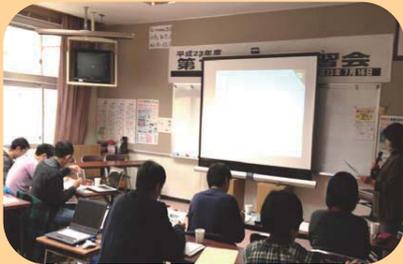
## 水源地域を結び、拓く

### 分類 1 人材の活用

#### 分類 1-1 人材の発掘・活用

実施時期 早期（先行）

- 概要
- ・水源地域の活性化に向けた技術や、知識、知恵を持った人材の発掘
  - ・発掘した人材を有効活用するための人材バンク（データベース）の構築の検討



「しまこトアカデミー」ソーシャル人材育成講座（例）

#### 分類 1-2 接客技術の向上

実施時期 早期

- 概要
- ・接客セミナーや研修等を実施することにより、観光客への接客マナーの向上に努める観光の担い手の育成



接客技術の講習会（例）

#### 分類 1-3 教育機関との連携

実施時期 早期（先行）

- 概要
- ・地元の大学や研究機関等と連携して、水源地域の活性化に関するプログラムの開発や助言、各種イベントへの学生の呼び込み
  - ・学生と地域のニーズをマッチングさせるシステムづくりを検討し、学生が地域づくりに参加することで学ぶという学修の環境の整備



さくらおろち湖祭りに参加する島根大学生（H21.11.15）

### 分類 2 組織の整備

#### 分類 2-1 リーダーの育成

実施時期 早期（先行）

- 概要
- ・水源地域ビジョンで検討された活動を継続して推進していくための、リーダーを対象とした講習会の開催
  - ・リーダー研修会の開催
  - ・先進事例を推進している地域への視察



リーダー育成講習会  
（地域づくり実践研修会・H21.9.12）

### 分類 3 企業との連携

#### 分類 3-1 企業との連携（CSR活動）

実施時期 早期（先行）

- 概要
- ・水源地域ビジョンで検討された活動を連携して推進していく企業の募集
  - ・企業と連携可能なプロジェクトの作成
  - ・地域内の企業が実施するCSR活動（企業の社会的責任）と連携し、周辺地域の清掃等の実施



CSR活動の様子  
（H25.7.23 企業の参加によるさくらおろち湖周辺の清掃活動）

### 分類 4 斐伊川流域圏の連携

#### 分類 4-1 下流域からの支援

実施時期 中期

- 概要
- ・水源地域の環境を保全していくために、下流域からの支援を得られるような仕組みの検討



『春の堀川の旅』  
出雲河川事務所HP「四季の写真館」フォトコンテスト2011春

#### 分類 4-2 流域圏の連携

実施時期 早期（先行）

- 概要
- ・尾原ダムの魅力を活かし、流域圏の連携・発展を図るために、流域内で実施されている活動や団体との連携
  - ・志津見ダム水源地域で活動されている団体と連携した情報発信や連携イベントの開催などの検討
  - ・広域的に連携した観光ルートを創造し、広くPR



ポビー祭りにおいて雲南市、奥出雲町の特産品販売コーナーを設置  
（H25.6.12 志津見ダム）

## 分類 5 情報発信

### 分類 5-1 情報発信の促進 (ホームページ、カレンダー、案内標識)

実施時期 早期(先行)

- 概要
- ・ホームページでの水源地域の自然環境や魅力、イベント情報などの発信
  - ・各種イベント・地域マスメディア、各種情報誌に水源地域に関する情報を積極的に発信
  - ・尾原ダム周辺の案内標識の整備



イベント情報の発信の例(例)  
(さくらおろち湖周辺を100%楽しむサイトホームページ)

### 分類 5-2 フィルム・コミッションの推進

実施時期 中期

- 概要
- ・水源地域の魅力を広く発信していくために、尾原ダムや周辺施設などを活用した映画やドラマなどを誘致するフィルム・コミッションの推進



『祝ボート施設竣工』  
出雲河川事務所HP「四季の写真館」フォトコンテスト2011秋

## 基本方針 流域圏の恵みの源を守り、育む

## 分類 6 森林の保全・維持管理活動

### 分類 6-1 森林の整備・管理

実施時期 早期(先行)

- 概要
- ・斐伊川流域の河川の水質保全のため、上流部の森林で広葉樹の植林
  - ・森林の計画的な間伐などの維持管理
  - ・雲南市の「うんなん森林バイオマス活用システム」や出雲町の「バイオスタウン構想」と連携し、竹林や林地残材のチップ化の推進
  - ・さくらおろち湖内の竹林等の適正な管理



「うんなん森林バイオマス活用システム」の研修風景(H24.6.18)

### 分類 6-2 ボランティア活動の実施

実施時期 中期

- 概要
- ・下流域の住民や小学生の森林ボランティアによる森林の草刈りや間伐、里山の手入れなど、森林保全の仕組みの検討
  - ・降雨後にさくらおろち湖に流入する流木の回収の仕組みを検討
  - ・学生によるボランティア活動を実施しやすくするために、例えば、島根大学のピビットカード制度※に基づく認定など

※ピビットカード：島根大学では大学では、ボランティア活動やサークル活動などの正課以外(単位認定されるものを除く)の諸活動に対して、ポイントが与えられ、ポイントに応じて特典が受けられる制度



尾原ダムどんぐりの森づくり活動

## 分類 7 河川の水質の保全

### 分類 7-1 水質の保全

実施時期 早期

- 概要
- ・水質保全を図るため、家庭から出る廃食油の回収・リサイクルの推進



『春うらら』  
出雲河川事務所HP「四季の写真館」フォトコンテスト2011春

### 分類 7-2 ビオトープの整備

実施時期 中期

- 概要
- ・さくらおろち湖に流入する水質の改善や、環境保全に対する地域住民の意識向上のために、さくらおろち湖周辺にビオトープを整備



ビオトープの整備(例)

## 分類 8 生物の生息環境の保全

### 分類 8-1 生息環境の保全（動物・植物）

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・ホタルの生息環境を保全するための、三沢川の清掃活動
  - ・ホタルのエサの減少を防ぐための、カワニナの放流活動
  - ・河川環境の保全のシンボルである、河岸のキシツツジなどの保全活動
  - ・人と動物が共存するための安全対策の検討
  - ・オオサンショウウオを保全するために、生息環境の保全活動の推進



溪流に咲くキシツツジ

### 分類 8-2 外来種、害獣、害鳥対策

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・ブラックバスを始めとした外来魚の放流が法律により禁止されていることを周知
  - ・外来種を捕獲するための仕組みづくりの検討
  - ・森林や漁業資源に被害をもたらす害獣や害鳥の対策



外来魚放流禁止の看板設置（例）

## 分類 9 環境学習会等の開催

### 分類 9-1 環境学習会の開催 （森林・水質・水生生物・ホタル）

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・さくらおろち湖や周辺の河川、森林への関心を促すための「環境学習会」の開催
  - ・ダム湖周辺の河川などを、夏休みの研究や自然観察会のフィールドとして活用
  - ・さくらおろち湖周辺のホタルの観察ポイントの整備
  - ・ホタルの観察会を開催し、自然環境への意識啓発
  - ・ホタルの生息環境に関する「学習会」の開催



三沢小学校の河川学習会の開催状況  
(H24.8.31 三沢川)

### 分類 9-2 体験プログラムの企画・開催 （間伐・農業体験）

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・水源地域の森林保全への意識を啓発するために、間伐や材木を活用したものづくりの体験プログラムの企画・実施
  - ・合宿形式の自然体験ツアーの企画・実施
  - ・水源地域の休耕田等を活用した農業体験ツアーの実施
  - ・既存の「柿採りと干し柿づくり」ツアーの推進



温泉小学校の児童による農業体験

## 分類 10 ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備

### 分類 10-1 ビューポイントの発掘・活用 （フォトコンテスト、のぼり）

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・さくらおろち湖周辺の良好な景観を発信し、魅力を向上させるために、さくらおろち湖周辺のビューポイント・写真撮影スポットの発掘
  - ・ビューポイントの案内板設置
  - ・季節に応じて見ごろを迎える紅葉や桜、新緑などを活かした写真撮影会の開催や、湖畔や橋に鯉のぼり（おろちのぼり）を掲げるなど、さくらおろち湖の魅力を発信



『さくらおろち湖の朝』※

※出雲河川事務所HP「四季の写真館」フォトコンテスト2012冬

### 分類 10-2 クズやカズラ等の対策・駆除

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・さくらおろち湖周辺の景観を向上させるために、周辺の森林や斜面に繁茂するクズやカズラ等の駆除
  - ・クズやカズラ等の対策にあたっては、単純にクズやカズラ等を伐採するだけでなく、クズ等の有効活用策（根のレシピづくり、編みかごづくりなど）を検討し、地域住民と楽しみながら対策できるような仕組みの構築
  - ・根本的な対策を検討していくために、クズ除去等の対策部会の設置や専門家への聞き取り調査などをあわせて実施



クズの駆除活動の様子

## 分類 10-3 ダム湖周辺の植栽 (サクラ、ツツジ)

実施時期 早期(先行)

- 概要
- 平成 22 年度に策定された「さくらおろち湖周辺植栽計画」に基づき、サクラやモミジ等の計画的な植樹活動
  - ダム本体周辺にツツジなどの植栽を実施し、ダム本体の魅力の向上
  - 植樹の推進にあたり、様々な助成事業の活用
  - さくらおろち湖周辺植栽計画を踏まえ、例えば「尾原ダム千本桜」などの目標を掲げた整備



日本さくら名所100選に選ばれた「斐伊川堤防桜並木」

## 分類 11 農村や周辺の景観の保全・改善

### 分類 11-1 農地保全の仕組みづくり

実施時期 中期

- 概要
- 水源地域の農村景観を保全していくために、維持管理が困難な農地を協力して耕作していく仕組みの構築
  - 仕組みの構築にあたり、流域内の大学生等が農地保全や草刈りのボランティアとして積極的に連携できるような呼びかけ



維持管理されている水源地域の農地  
(奥出雲町佐伯地区)

### 分類 11-2 農村景観の向上 (ミックスフラワー)

実施時期 早期

- 概要
- 水源地域内の耕作放棄地を減少させ、農村景観を改善していくために、ミックスフラワー等の栽培



花を用いた農村景観の向上(例)

## 基本方針 さくらおろちの魅力を磨き、活かす

## 分類 12 森林の保全・活用

### 分類 12-1 森林の利用促進(森林セラピー、森のようちえん)

実施時期 早期

- 概要
- 水源地域の森林環境を、心身の健康維持・増進、疾病の予防を目指す「森林セラピー」の場として活用。森の香りや空気の清浄さ、美しい色彩や景観などが人の生理に及ぼす効果について、医学的に検証された「森林セラピー基地」となるような水源林の整備
  - 自然環境の中での幼児教育や、幼児を対象とした自然体験活動などを実施する「森のようちえん」の推進



水源地域の森林  
(岩内地山展望広場より)

## 分類 13 ダム本体の活用

### 分類 13-1 尾原ダムの魅力発掘(ライトアップ・クレスト放流等)

実施時期 早期(先行)

- 概要
- 尾原ダムの魅力を発掘し、積極的な発信
  - 尾原ダムの魅力を向上させるために、ライトアップやイルミネーション、クレスト放流の実施などの検討
  - 各種イベントに合わせて実施しているダム施設の見学ツアーを積極的に開催
  - 写生大会など、ダム本体の学習教材としての活用やビューポイントとの連携、ダムカードの活用、情報端末の活用など、尾原ダムが有する資源・特徴を発掘・発信
  - ダムの活用について様々な可能性を追求(ダムのビューポイント探し、フォトコンテスト、ダム本体に絵を描く企画、無料オートシアター、ロックライミングなど)



試験湛水時のサーチャージ到達時  
(H24.3.3 AM3 時)後のクレスト放流

## 分類 14 サイクリング施設の活用

### 分類 13-2 日本一プロジェクト

実施時期 早期（先行）

- 概要
- ・尾原ダムの魅力を広く認知してもらうために、尾原ダム本体や堤頂道路などを活用した「日本一」プロジェクトの企画
  - ・企画した「日本一」プロジェクトを積極的に実施



ダム堤頂道路の活用(長さ約440m)

### 分類 14-1 サイクリングコースの活用・PR (サイクリングイベント、認定コース、ショートコース)

実施時期 早期（先行）

- 概要
- ・サイクリングコースの魅力を発信するために、「観光庁ランナーズインフォメーション研究所」による国内初の認定コースとして選出されたことの発信
  - ・平坦なコースが続く 4.5km のコースは一般の方にも楽しんでもらえるコースであることの発信
  - ・サイクリングコースの多様な活用に向け、マラソンや駅伝など他の利用方法を検討
  - ・既に実施されているサイクリング大会や紅葉サイクリングを継続・発展
  - ・MTB や BMX 大会の実施など、サイクリングを通じた上中下流交流や地域活性化
  - ・サイクリングコースを活用し、子供向けサイクリング教室等の企画・実施



「観光庁ランナーズインフォメーション研究所」(所長：高橋尚子氏(マラソン金メダリスト))の認定コースの看板

### 分類 14-2 レンタサイクルの実施

実施時期 早期（先行）

- 概要
- ・一般の方にサイクリングコースを楽しんでもらうために、「佐伯温泉 長者の湯」等を拠点としたレンタサイクルの実施



奥出雲町サイクリングターミナル

### 分類 14-3 サイクリングコースの改善

実施時期 後期

- 概要
- ・サイクリングコースの魅力を向上させるために、サイクリングコースへ藤棚を設置するなど、利用者が夏場の日差しを避けることができるような対策の推進



2011 奥出雲サイクリング(H23.9.23)

## 分類 15 さくらおろち湖の活用

### 分類 15-1 湖面の利用促進 (ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験)

実施時期 早期（先行）

- 概要
- ・さくらおろち湖の魅力を向上させるために、さくらおろち湖の利用の促進(水陸両用バスによる湖上観光、シーカヤックやカヌー、ヨット等を利用したイベントの開催、湖面いかだレースの開催、屋形船の導入など)。
  - ・サイクリングコースと連携して、トライアスロン大会の実施に向けた協議の実施
  - ・さくらおろち湖に完成した認定コースを活用したレガッタ大会やボート競技大会の誘致
  - ・現在斐伊川で開催されている子供向けボート教室をさくらおろち湖で実施
  - ・流域住民を対象とした体験教室などを開催し、ボートを通じた水源地域の認知度向上



シーカヤックの体験イベント(H24.10.21)

### 分類 15-2 さくらおろち湖の魅力発信

実施時期 早期

- 概要
- ・様々な角度からさくらおろち湖の魅力を発信するために、ダム湖の形状クイズなどの実施



さくらおろち湖全景

### 分類 15-3 釣り利用（PR・大会・施設整備）

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・さくらおろち湖の新たな利用者を増やすために、さくらおろち湖での釣り大会の実施可能性の検討
  - ・関連団体等との調整を実施した上で、釣りスポットの整備等、ダム湖と川に親しめる取組を実施し、さくらおろち湖の魅力の向上
  - ・道の駅「おろちの里」での鑑札の販売など、簡易に釣り利用ができる仕組みの検討



湖面での魚釣り（例）

### 分類 15-4 利用ルールの策定・周知（湖面利用の手引き等）

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・水源地域と他地域との交流促進による水源地域の活性化、公共施設の適正な管理を行うために、「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」を適正に運用
  - ・周辺の施設を利用する際の手続きの簡素化や、窓口の一元化の可能性の模索



さくらおろち湖周辺及び湖面利用の手引き（ハンドブック、H25.3.28 版）

## 分類 16 既存施設等の活用

### 分類 16-1 自転車競技施設（多目的広場）の利用促進（音楽イベント等）

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された自転車競技施設（多目的広場）の利活用の検討
  - ・水源地域の賑わい創出、平成 24 年に実施された音楽イベント（幸雲南 DAY ROCK FESTIVAL）の実施



幸雲南DAY ROCK FESTIVAL (H24.8.19)

### 分類 16-2 農村体験施設の利用促進

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・「地域に開かれたダム整備計画」に基づき農村体験施設を有効活用するために、併設の宿泊施設での体験学習会や、小中学生を対象とした合宿研修の利用などのPR
  - ・広大な農地を活用した「かぼちゃの吊り下げ栽培」の推進



かぼちゃ吊り下げ栽培

### 分類 16-3 下布施ホースセラピー施設の利用促進

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された下布施ホースセラピー施設を活用した心の癒し企画の検討
  - ・農村体験施設や周辺の農地と連携した体験プログラムの企画などの検討



乗馬体験の実施風景（H24.10.21）

### 分類 16-4 街道・登山道の活用（トレイルランニング、殿様街道、岩伏山）

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された岩伏山の登山道を有効活用するために、小中学生（スポーツ少年団）による登山などの企画
  - ・トレイルランニングのコースとして整備された殿様街道の保全活動やイベント企画などの実施
  - ・上中下流交流を実施するために、さくらおろち湖から、出雲神話の舞台であり、松江藩主が通った殿様街道を駆け巡るトレイルランニング大会の実施



トレイルランニングの開催 (H25.6.2 第1回さくらおろち湖トレイルラン)

### 分類 16-5 新たな活用策の検討（星空観察会、ドックラン等）

実施時期 中期

- 概要**
- ・「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された様々な施設の魅力を向上させるために、継続的な施設の活用策の検討



尾白山方残土処理場（放牧地として活用）

## 分類 17 神話の継承・活用

### 分類 17-1 出雲神話の活用・PR（マップ作り・関連ツアー）

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・水源地域に伝わる出雲神話を掘り起こし、それらの伝承地（岩伏山頂上、長者屋敷跡、天が淵など）を巡る着地型観光ツアーを企画。なお、着地型観光ツアーの企画にあたっては、出雲神話と地域の風土、産業との関連など、水源地域全体の過去、現在、未来を把握できる内容になるよう努めた企画
  - ・地域内で実践されている出雲神話に関する活動の支援
  - ・活動団体のメンバーを講師に招き、地域住民を対象とした学習会の開催やマップや読み物の作成などにより、地域に伝わる貴重な歴史や文化の継承



天が淵を巡るツアー  
（水源地域対策アドバイザー派遣事業 地域資源調査）

## 分類 18 郷土料理の継承・活用

### 分類 18-1 郷土料理の継承・活用 （焼豆腐、イノシシ料理等）

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・地域に伝承されている「食」（焼豆腐、笹巻き、イノシシ料理など）の掘り起こし
  - ・発掘した郷土料理を地域住民に伝承するための講座の開催
  - ・宿泊と料理を結びつけたオーベルジュの活用



食文化の継承（笹巻きづくり）

### 分類 18-2 モニターツアーの開催

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・現在実施している郷土料理を楽しむモニターツアーを継続・拡大させ、郷土料理を通じた水源地域の魅力の発信
  - ・オーガニック料理教室の実施



奥出雲で「食の幸」「人の幸」に出会う雲南バスツアー「幸運なんです。雲南です。」  
（H22.9.11）

## 分類 19 地域文化の継承・活用

### 分類 19-1 古民家の活用

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・水源地域の地域文化を継承・活用するため、まずは、整備された「要害山交流拠点施設 みざわの館」を観光拠点の一つとして積極的に活用



要害山交流拠点施設「みざわの館」

## 分類 20 地域の魅力・資源の発掘・活用

### 分類 20-1 温泉の活用（スタンプラリー）

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・水源地域周辺に立地する温泉施設間の連携を促進するために、温泉スタンプラリーの企画・実施
  - ・水源地域交流拠点として利用している「佐白温泉 長者の湯」で、水源地域農産物の産直販売や、食の提供、世代間交流の実施



食地域内の温泉を巡る「うなん湯たんぽラリー」

### 分類 20-2 観光資源の再整理

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・水源地域として、観光拠点として発信する施設の選定
  - ・斐伊川の歴史とヤマタノオロチの伝承等、自然とその背景を地域の資源を再整理した上で、地域全体として魅力の発信



ヤマタノオロチ伝承（奥出雲神代神楽）

### 分類 20-3 地域体感ツアーの開催

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・水源地域の新しい魅力を広く発信するために、地域体感ツアーの企画・開催
  - ・雪かきなどの雪体験ツアーの開催の検討
  - ・ツアーエージェントを対象に、水源地域の魅力を活用したツアーの制作の依頼
  - ・地域体感ツアーの開催にあたっては、温泉や宿泊施設などとの連携の模索



真冬の奥出雲体感ツアーでのみそづくり体験

## 分類 21 漁業資源の育成と活用

### 分類 21-1 漁業資源の創出（ワカサギの放流）

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・新しい地域資源として、さくらおろち湖へのワカサギ放流の継続
  - ・放流したワカサギを、漁業資源としてだけでなく、冬季の観光資源としての活用の模索



ワカサギの卵の取り付け

## 分類 22 特産品の開発・販売

### 分類 22-1 特産品の開発・販売促進

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・水源地域の豊富な湧水や豊かな森林から生産される木材資源、新鮮で高品質な農作物、さくらおろち湖を特色づける特産品、出雲神話に関連する商品など、水源地域ならではの素材を用いた個性ある商品の開発
  - ・開発した特産品を「水源地域ブランド」として認定し、全国へ発信・販売することにより水源地域の認知度の向上
  - ・開発した特産品の販売促進を図るため、出雲神話に由来するネーミングの検討



「道の駅 おろちの里」での販売風景

## 分類 23 交流イベントの活発化

### 分類 23-1 さくらおろち湖祭りの開催

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・「さくらおろち湖祭り」を継続・発展させることで、水源地域への観光客を呼び込み、水源地域の活性化
  - ・「さくらおろち湖祭り」については、NPO法人などの関係諸団体と連携し、ダム湖面の活用の検討



「さくらおろち湖祭り」での湖面利用  
(H24.10.21 シーカヤック体験)

### 分類 23-2 そば打ち交流会の開催

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・水源地域の特産品を通じた上中下流交流を実施するために、下流域の住民との「そば打ち交流会」を継続して開催



そば打ち交流会

### 分類 23-3 イベントの企画・立案

実施時期 早期（先行）

- 概要**
- ・水源地域の魅力を向上させるために、尾原ダム（さくらおろち湖）を念頭においてイベントの企画・立案
  - ・周辺に人家が少ないダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討
  - ・堤頂道路の直線を活かしたイベントの企画・実施
  - ・さくらおろち湖とサイクリングコースを活かしたトライアスロン大会を実施する方向で検討
  - ・新たなイベントとして、様々な可能性の検討（ボウリング大会や綱引き大会、障害物競走、ペットボトルロケット大会、遠投大会、雪合戦、バンジージャンプなど）



トライアスロン練習会の風景（H25.7.28）

## 先行プロジェクト

・先行的（1年目）に取り組むプロジェクト：37件

基本方針	先行プロジェクト
水源地域を結び、拓く	(1)-1 人材の発掘・活用 (1)-3 教育機関（大学等）との連携 (2)-1 リーダーの育成 (3)-1 企業との連携（CSR活動） (4)-2 流域圏の連携 (5)-1 情報発信の促進（ホームページ、カレンダー、案内標識） <span style="float: right;">（6件）</span>
流域圏の恵みの源を守り、育む	(6)-1 森林の整備・管理 (8)-1 生息環境の保全（動物、植物） (8)-2 外来種、害獣、害鳥対策 (9)-1 環境学習会の開催（森林、水質・水生生物、ホタル） (9)-2 体験プログラムの企画・開催（間伐・農業体験） (10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォトコンテスト、のぼり） (10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除 (10)-3 ダム湖周辺の植栽（サクラ、ツツジ） <span style="float: right;">（8件）</span>
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クレスト放流等） (13)-2 日本一プロジェクト (14)-1 サイクリングコースの活用・PR （サイクリングイベント、認定コース、ショートコース） (14)-2 レンタサイクルの実施 (15)-1 湖面の利用促進（ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験） (15)-3 釣り利用（PR・大会・施設整備） (15)-4 利用ルールの策定・周知（湖面利用の手引き等） (16)-1 自転車競技施設（多目的広場）の利用促進（音楽イベント等） (16)-2 農村体験施設の利用促進 (16)-3 下布施ホースセラピー施設の利用促進 (16)-4 街道・登山道の活用（トレイルランニング、殿様街道、岩伏山） (17)-1 出雲神話の活用・PR（マップ作り、関連ツアー） (18)-1 郷土料理の継承・活用（焼豆腐、イノシシ料理等） (18)-2 モニターツアーの開催 (19)-1 古民家の活用 (20)-1 温泉の活用（スタンプラリー） (20)-2 観光資源の再整理 (20)-3 地域体感ツアーの開催 (21)-1 漁業資源の創出（ワカサギの放流） (22)-1 特産品の開発・販売促進 (23)-1 さくらおろち湖祭りの開催 (23)-2 そば打ち交流会の開催 (23)-3 イベントの企画・立案 <span style="float: right;">（23件）</span>

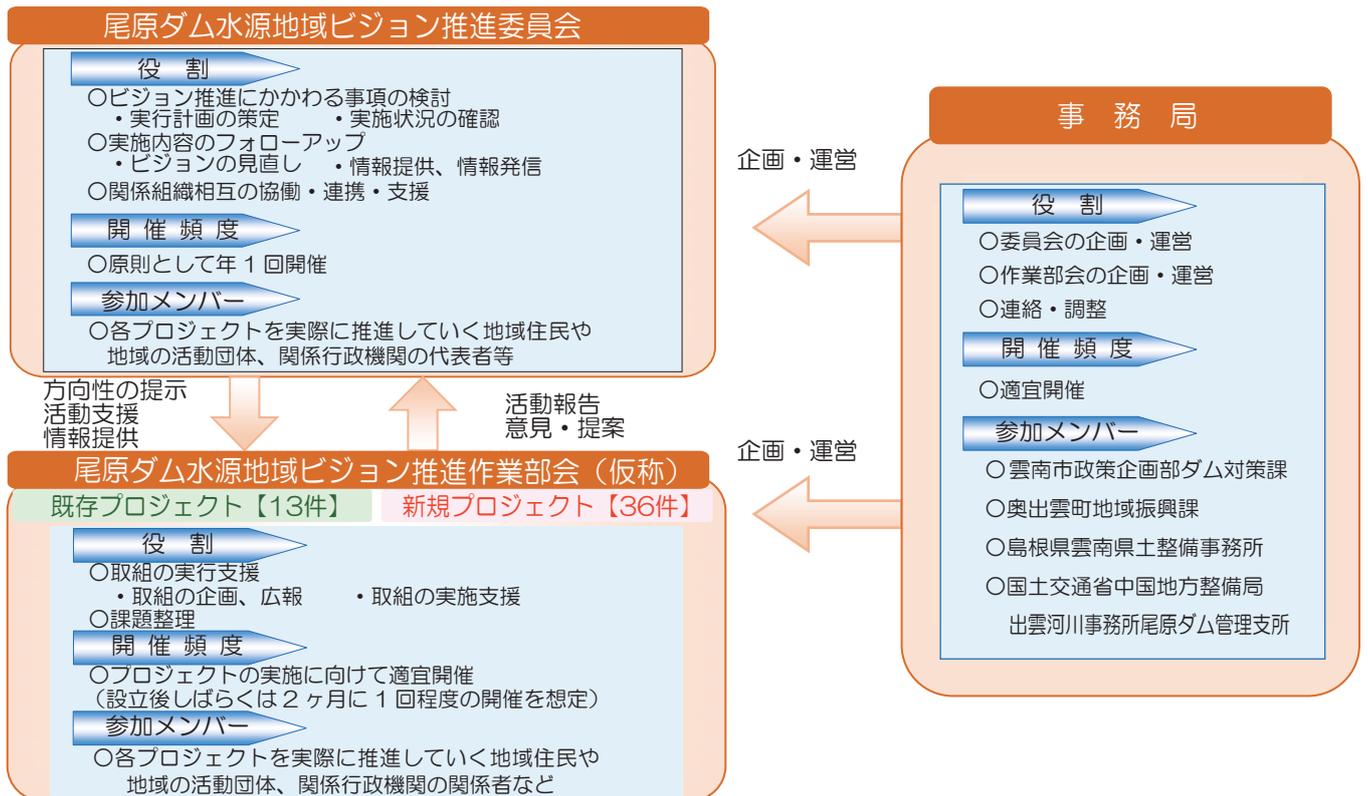
## 4 推進体制と推進方法

### 推進組織

尾原ダム水源地域ビジョンの着実な実施のためには、**地域住民等への情報提供や、理解と協力の呼びかけを行うとともに、関係組織相互の支援を働きかけ、協働・連携を実施しながら、状況や水源地域の満足度等を確認するなど、必要に応じてビジョンの修正・追加等を行うフォローアップが不可欠です。**

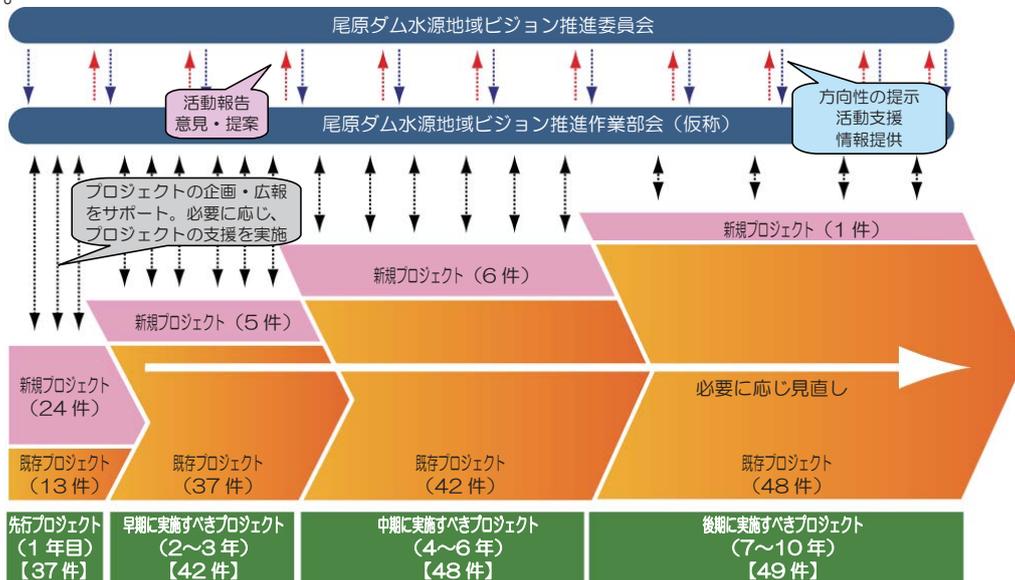
そのため、「水源地域ビジョン策定要綱」第7条に基づき、水源地域活性化の着実な実施と関係者間の役割分担、連携・協力を円滑に進めるためのビジョン推進組織を設置します。

尾原ダム水源地域ビジョンの推進組織は、ビジョン推進にかかる事項の検討と実施内容のフォローアップ、関係者間が役割を分担し、協力・連携してビジョンを推進していくための連携組織としても「尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会」と、プロジェクトの実行支援や課題の整理等を行う役割を担う「尾原ダム水源地域ビジョン推進作業部会（仮称）」の2組織で構成します。



尾原ダム水源地域ビジョン推進体制

各プロジェクトは、熟度に応じて段階的に進め適宜フォローアップを実施します。実施状況については、積極的に広報を行っていきます。



※既存プロジェクト件数は累計数

## 1 プロジェクトの進め方

今後は、先行プロジェクトとして設定した合計 37 件（既存プロジェクト 13 件、新規プロジェクト 24 件）について「1 年目に取り組むべき事項」を平成 25 年度から着手していきます。

なお、①既存プロジェクトについては、これまでの実施団体が引き続き推進していき、「尾原ダム水源地域ビジョン推進作業部会（仮称）」は必要に応じサポートしていきます。

②新規プロジェクトについては、「尾原ダム水源地域ビジョン推進作業部会（仮称）」が実施内容の企画検討や広報などをサポートしていきます。

その後、前ページの図のとおり、早期・中期・後期プロジェクトを段階的に取り組んでいき、必要に応じプロジェクトの見直しを行います。

## 2 フォローアップの実施

尾原ダム水源地域ビジョンは、「尾原ダム水源地域ビジョン推進作業部会（仮称）」でとりまとめた後、原則年 1 回開催する「尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会」において、フォローアップします。

「尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会」は、「尾原ダム水源地域ビジョン推進作業部会（仮称）」から、活動報告や意見・提案を受け、審議した後、「尾原ダム水源地域ビジョン推進作業部会（仮称）」に対し、方向性の提示、活動支援、情報提供を行います。

なお、審議の際には、「目標達成のチェック」、「効果」、「水源地域の満足度」等を確認し、必要があれば、「ビジョン」の修正、追加等を行います。

## 3 広報計画

水源地域の活性化のための取組を支援するために、地域住民・流域の自治体・関係行政機関等への情報提供、活動への理解と協力の呼びかけ、プロジェクトの参加募集などの広報を行います。

### 【広報の目的】

- ◆積極的な広報を展開し、流域圏の交流や地域活性化の促進を図っていきます。

### 【広報エリア】

- ◆ホームページなどを活用した広報では、広く一般に情報を発信し、尾原ダム水源地域への来訪意欲の向上を目指します。
- ◆「尾原ダム便り」などの紙媒体を活用した広報では、斐伊川流域圏を念頭に配布等をするとともに、尾原ダムへの誘客が想定される圏域（大田市、三次市、庄原市など）にも情報発信を行うことで交流を促進します。

### 【具体的な広報媒体】

- ◆多様な広報媒体を活用し、「尾原ダム水源地域ビジョン」を PR します。
  - (1) 関係機関等のホームページ
  - (2) 「尾原ダム便り」による活動内容の告知・報告
  - (3) 公報の活用（雲南市、奥出雲町、島根県）
  - (4) 地域イベントとの連携
  - (5) 地域マスメディアを通じた広報
  - (6) 飯南町、斐伊川下流自治体における関連イベントでの PR ブースの設置等
  - (7) ソーシャルネットワーキングサービスの活用
  - (8) その他、効果的な広報媒体の活用

つなげよう、育てよう、活かそう  
“さくらおろち湖”

基本方針の「①水源地域を結び、拓く」を「つなげよう」で表現、「②流域圏の恵みの源を守り、育む」を「育てよう」で表現、「③さくらおろちの魅力を磨き、活かす」を「活かそう」で表現、対象地域である『“さくらおろち湖”』を添えました。

尾原ダム水源地域  
ビジョン策定委員会  
事務局

雲南市政策企画部ダム対策課

〒699-1332

島根県雲南市木次町木次 1013-1

電話 (0854) 40-1012

奥出雲町地域振興課

〒699-1592

島根県仁多郡奥出雲町三成 358-1

電話 (0854) 54-2524

島根県土木部斐伊川神戸川対策課

〒690-8501

島根県松江市殿町 8 番地

電話 (0852) 22-5088

島根県雲南県土整備事務所

志津見ダム・尾原ダム対策スタッフ

〒699-1396

島根県雲南市木次町里方 531-1

電話 (0854) 42-9587 (代)

国土交通省中国地方整備局

出雲河川事務所

〒693-0023

島根県出雲市塩治有原町 5-1

電話 (0853) 21-1850(代)

平成 25 年 1 0 月作成